

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

■ 卒論やフィールドワーク

- ① 秀英予備校の事業再生（グループ研究）
- ② IFRS（国際財務報告基準）適用による株価への影響（グループ研究）
- ③ 税金を意識した経営者の利益調整行動（グループ研究）
- ④ CSRの開示と財務業績の関連性に関する分析（グループ研究）
- ⑤ バランストスコアカード導入の効果に関する分析（卒論）

■ ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

基本書の輪読をした後、グループごとに簡単な調査・研究を行います。

基本書：大津広一『会計力と戦略思考力＜新版＞』日経ビジネス人文庫,2013年

小樽商科大学ビジネススクール『MBAのためのケース分析（改訂版）』同文館出版,2010年

山本勲『実証分析のための計量経済学 正しい手法と結果の読み方』中央経済社,2015年

現在の研究テーマ：教育費面から見る少子化

JINS、マツダ、資生堂の経営（企業）分析

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

- ①他大学との合同ゼミ、インターゼミ＜発表タイトル・開催場所などなど＞
追手門学院大学（大阪）と合同で研究報告会を行います。
- ②研究会発表
多くの社会人を招き、研究報告会などを行います。
- ③企業セミナー参加
トヨタグループとの懇親会、太陽有限責任監査法人への訪問などを行います。
- ④コンテスト参加、入賞
旅行商品開発プロジェクト（通称 JAL プロ）へ参加し、審査員特別賞を受賞しました。